

平山郁夫の 足跡を たどる

日本の古社寺と 文化財保護



平山郁夫 《平成の洛中洛外》右隻 2003年

2020 6/27 sat — 12/27 sun

休館日=会期中無休 開館時間=10:00—17:00 (入館は16:30まで)

入館料=一般1200円/高大生800円/小中学生 無料

*障がい者手帳をお持ちの方無料、介護者の方1名まで600円 *70歳以上の方、20名様以上の団体 各100円割引

主催=公益財団法人平山郁夫シルクロード美術館

後援=山梨県、山梨県教育委員会、北杜市、北杜市教育委員会、朝日新聞甲府総局、山梨日日新聞社・山梨放送、
読売新聞甲府支局、信濃毎日新聞社、八ヶ岳ジャーナル、テレビ山梨、エフエム富士、エフエム八ヶ岳

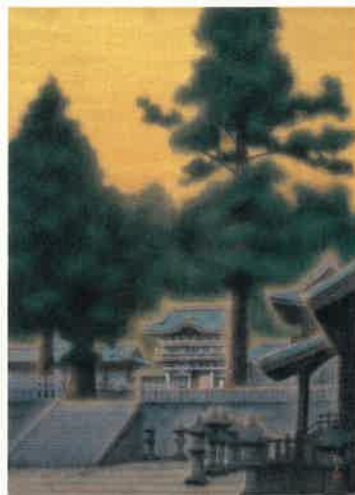
平山郁夫シルクロード美術館
HIRAYAMA IKUO SILK ROAD MUSEUM

入館料100円引き
本チラシを受付まで提示ください
期間中、本チラシ1枚につき
1名1名まで有効



平山郁夫の足跡をたどる

日本の古社寺と文化財保護



- 1 《熊野路(古道)》 1991年 早稲田大学図書館蔵 (展示期間：6/27～10/25 予定)
- 2 《大仏殿の夜》 1973年 佐久市立近代美術館蔵 (展示期間：6/27～10/25 予定)
- 3 《日光東照宮》 1989年 佐久市立近代美術館蔵 (展示期間：6/27～10/25 予定)

※新型コロナウイルス感染症対策等により、展示期間の変更が生じる場合もあります。

平 山郁夫は、一九六八年から日本文化の源流を求め、仏教伝来の道でもあるシルクロードを旅し、平和を祈りながら描き続けた。戦後日本画壇を代表する画家であります。平山の長きにわたる画業の中で、シルクロードの取材は一五〇回を超えるほどであり、これらの旅を行う中で画家は改めて日本の素晴らしさに気づき、一九九〇年代以降、平成に入ってからには数々の「日本の風景」を描いてきました。本展は、そうした日本を題材とする作品の中から、伝統的な社寺などをテーマに展示し、あわせて画家自身の後年の活動であった「文化財保護活動」についても紹介します。

平山郁夫シルクロード美術館 第12回絵手紙コンテスト「おうちde絵手紙」開催

平山郁夫シルクロード美術館では、日本画並びにシルクロード文化の普及を目的に様々な活動を行っています。その一環として、「絵」と「ことば」による作品を広く募集し、優秀な作品を表彰する「平山郁夫シルクロード美術館絵手紙コンテスト」を実施してきました。第12回を迎える今年には①「おうちdeシルクロード」②「自然を描こう」③「シルクロードのいきもの」の3テーマで作品を募集します。皆様の応募を心よりお待ちしております。

募集期間：2020年4月24日④～12月27日⑥まで(当日必着)

部門：幼児部門/小学生部門/中・高生部門/大人部門

*詳しくはホームページをご覧ください。



「平山郁夫の足跡をたどる」展 学芸員によるみどころ解説

日時：9月19日④、10月17日④、11月21日④ いずれも第3土曜日 14時～(予定)

イベント開催に関して
今後の動向を鑑みて、開催が決定次第、ホームページやSNS等でお知らせします。

次回展のご案内

平山郁夫 祈りのかたち(仮)

2021年3月6日④～(予定)



2階大展示室 大シルクロード・シリーズ



公益財団法人

平山郁夫シルクロード美術館

〒408-0031 山梨県北杜市長坂町小荒間2000-6 Tel. 0551-32-0225

www.silkroad-museum.jp



電車：新宿駅(JR中央線特急・約2時間)⇒小淵沢駅(JR小海線・7分)⇒甲斐小泉駅
自動車：小淵沢ICより約10分。八ヶ岳高原ライン小荒間交差点を右折後、踏切を越えてすぐ左折後300m

※新型コロナウイルス感染症対策に関するお願いをホームページにて掲載しています。ご協力をお願い致します。